

平成30年度 自己評価及び学校関係者評価書

平成31年3月8日
札幌市立篠路西中学校

1 学校教育目標

未来をひらく人間性豊かな生徒

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 進んで学び 創造的知性を身につける | 2 礼儀正しく 豊かな情操を身につける |
| 3 ねばり強くやりぬき 心身を鍛える | 4 自他を尊重し 進んで行動する |

2 本年度の経営方針

- 豊かな人間性を培う創意ある教育課程の編成と推進に努める。
- 確かな学力の定着と伸長を図るため、成就感や達成感が味わえる授業づくりをめざす。
- 他者を尊重する心や生命に対する畏敬の念を培うとともに、感動や探究する心を育て、豊かでかつ積極的に生きようとする生徒の育成を図る。
- 個々の見方、考え方、受けとめ方を尊敬し認め合いながら、学び合う学級につくりこみに努め、特別活動の活性化を図る。
- 特別支援教育を必要とする生徒の増加やニーズの多様化が進むことを十分に考慮し、個々の生徒への支援の仕方を工夫するとともに、支援教育の充実を図る。
- 教師の専門性、力量を高め合うため、教育実践を通してお互いに意思の疎通を図り、実践研究の充実を図る。
- 保護者や地域との連携を深め、開かれた学校づくりを推進する。

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

| 分野 | 評価項目 | 自己評価 | | 学校関係者評価 | |
|----------------|---|------|---|----------|---------|
| | | 達成状況 | 改善の方策 | 自己評価の適切さ | 改善策の適切さ |
| 学校教育目標 | 学校教育目標「未来をひらく人間性豊かな生徒」を意識して教育活動を進めている。 | A | 各分掌・学年で、学校教育目標の達成を念頭に置き、計画的に業務を推進した。今後も札幌市学校教育の重点等と本校の特色に基づき、教育活動を高めていきたい。 | A | A |
| | 学校教育目標が保護者・生徒に理解されている。 | A | P T A等の集会や、学校だより・ホームページで保護者・生徒に周知する機会を増やし、理解していただく努力を継続していきたい。 | A | A |
| | 教育活動全般にわたって反省・評価を行い、次年度の計画に生かそうとしている。 | A | 年1回の反省・評価にとどまらず、年度途中でも計画の見直しや改善を行いたい。 | A | A |
| | 全体研修を計画的に実施し、教育実践に役立てている。 | A | 授業公開研修を行い、日々の授業の改善に生かすことができた。「学ぶ力の育成」の充実を目指し、各教科とも更に研修を重ねたい。 | A | A |
| 学校関係者評価委員による意見 | ・登校時に子どもが素直にあいさつできることで、学校に対して楽しい、部活・授業が楽しみだと感じる。家庭での親子関係もよくなってきているようだ。各評価項目について、具体的な改善策が実施されていることは評価に値する。 | | | | |
| 学 | 学習指導要領に則った教育課程を編成し、実施している。 | A | 多少地震の影響はあったが全学年、年間授業時数、必修教科時数を確保できた。特別活動・道徳・総合的な学習の時間も適正実施に努めることができた。今後も内容・バランスを考えた教育課程の編成を目指す。 | A | A |

| | | | | | |
|-----------------------|--|--|---|---|---|
| 習 指 導 | 基礎学力の定着を目指すため、学習指導と評価の工夫に努めている。 | B | 基礎的・基本的な学力の定着を目指し授業の構築と実践に努めてきたが、生徒の学力が伸びているとは言い難い。NRTの検証と「分かる・できる・楽しい授業づくり」を目指し、更に工夫改善を行っていききたい。 | A | A |
| | 観点別の達成目標の見直し・具体化に努め、評価・評定の充実に努めている。 | A | 今年度研修会で話題として取り上げ、各教科会で目標の確認・設定を常に見直し、進度設定の確認を意識した。資料の収集を含め、より適正な評価・評定に努める。 | A | A |
| | T・T等を有効に活用し、積極的に学ぶ学習態度の育成に努めている。 | A | 数学科・英語科でT・T等を行った。更に、個に応じたきめ細かな指導に取り組んで行きたい。 | A | A |
| 学校関係者評価委員による意見 | | ・「分かる・できる・楽しい」授業をこれからも目指してほしい。また、生徒の達成感をもたせるよう期待する。 | | | |
| 生 徒 指 導 | 基本的な生活習慣の徹底と自己管理能力の育成を図っている。 | A | 全職員で共通理解を図り、基本的な生活習慣の確立、規範意識や責任感を育み、思いやりを持った生徒の育成に一層努める。 | A | A |
| | 自他の生命や人権を尊重する心、感動的・体験的活動を通して豊かな人間性の育成を図っている。 | A | 道徳では、副読本を使用した。更に関係機関による講演や映像等、生徒の心に訴える資料の収集と活用を行った。今後学級指導や集会活動、道徳教育の充実に図る。 | A | A |
| | 受容と共感、相互信頼に基づく生徒指導体制の確立と充実に努めている。 | A | 全職員の共通認識の上に立ち、生徒指導部、学年の組織を有効に機能させ、報告・連絡・相談の徹底を図っていききたい。 | A | A |
| | 生徒理解のための全教職員による教育相談活動の充実に図り、不登校やいじめ、問題行動等の未然の防止のため、生徒の内面的な心の状態を十分に把握するように努めている | A | 日常の観察、対話を大切にすること、保護者との連絡を密にし、家庭と学校の連携の上、生徒を育てることを常に意識した。また、年2回の教育相談週間で、教員と生徒の相互理解を深め、生徒と触れ合う場面を一層大切にして生徒理解に努めた。生徒・保護者の支援を手厚くするためにも、スクールカウンセラーや相談支援パートナー等の活用、関係機関との連携、校内学びの支援委員会の活性化を今後も図っていく。 | A | A |
| 学校関係者評価委員による意見 | | ・生徒が思いを吐き出しても、受け止めてくれる教員がいることは、生徒にとっても喜ばしいことである。 ・夜間パトロールなどでも、一時期とは異なり生徒を夜遅く見かけなくなった。学校と一緒に地域も見守っている。 | | | |
| 健 康 安 全 指 | 健康に対する意識を高め、望ましい生活習慣を身につけさせるよう努めている。 | A | ポスター掲示、保健だよりを発行し、生徒の健康に対する意識を高めた。今後は一層家庭との連携・協力を努め、望ましい生活習慣を身につけさせたい。 | A | A |
| | 学校給食を通して望ましい食習慣の育成のため給食指導を適切に行っている。 | A | 給食の親学校の栄養教諭と連携し、計画的に、食に関する指導・食育に取り組んでいきたい。 | A | A |
| | 生徒たちは部活動に意欲的で、生き生きと参加している。また、外部指導者の活用によ | A | 生徒の部活動に対しての意欲は高いが、施設・設備・設立等の条件で生徒の要望にこたえられない点も多くある。顧問の献身的な取 | A | A |

| | | | | | |
|----------------|---|---|--|---|---|
| 導 | り、充実した活動が展開できるように努めている。 | | り組みに頼っている。また、現在の部活動の在り方を保護者へ啓発する。 | | |
| | 防災・防火（避難訓練）・防犯教育等を適切に行っている。 | A | 危機管理を意識して訓練等を行ってきた。年2回の避難訓練で、集団下校グループも体育館で一斉に確認し、下校時の危機管理に備えた。 | A | A |
| 学校関係者評価委員による意見 | | ・部活動の在り方を考えるときに、学校だけで対処できることではないが、教員の労働内容（時間）の緩和が求められている。 | | | |
| 家庭や地域との連携 | 学校行事や生徒会活動を積極的に保護者や地域に公開している。 | A | 公開回数は昨年度と同様に各学期一回ずつを確保したが、保護者の来校が特定の少数の方に偏っている。来校していただくための案内を工夫していきたい。 | A | A |
| | 学校だよりやホームページの充実を図り、保護者・地域に本校の教育活動を知らせている。 | A | 学校だよりは保護者だけでなく、地域にも配布し、ホームページの更新も定期的に行った。一般教員や生徒が地域の発表会に参加して、積極的な発信を行った。 | A | A |
| | 小学校との連携を密にし、教育の連続性の理解を深め、一貫性のある教育活動の展開に努めている。 | A | 今年度は、夏休みに篠路西小・茨戸小の両校と交流（音楽科と合唱部）を、また3学期には出前授業（英語科・音楽科）を実施した。2学期は、本校の合唱コンクールに茨戸小の6年生が来校し、鑑賞するという交流ができた。今後は、中学校の授業参観等、連携の方策を検討し実施していきたい。 | A | A |
| | 生徒の健全育成の促進を図るため、地域の行事や奉仕活動などへ積極的に参加・協力している。 | A | 生徒会の呼びかけを中心に、120名以上の生徒が参加した「ゴミ拾い活動」を行った。また、篠路コミュニティセンターにおいて地域連携事業として「ゴミ拾い活動」の発表を生徒会の代表者が行った。 | A | A |
| | 地域や関係機関との連携を密にした教育活動の推進をしている。 | A | 校区小学校や篠路Cネットとの連携、北区保健福祉部家庭児童相談室、少年育成相談室、教育センター、ケースワーカー、児童委員等関係機関との連携は円滑である。今後も大切にしていきたい。 | A | A |
| 学校関係者評価委員による意見 | | ・小中連携の良い取組を今後とも充実させることで、子どもの素直な育ちをよりはぐくんでほしい。 | | | |
| その他 | 個人情報・諸帳簿の取扱い・管理が適切になされている。 | A | 個人情報の管理は情報セキュリティに従い適切になされている。今後も継続する。 | A | A |
| | 施設・設備の状況を把握して、安全な管理体制の整備に努めている。 | A | 全職員による不具合の発見・報告により、迅速に対応し安全整備に努めることができた。 | A | A |
| | 学校徴収金や補助教材は必要最小限とし、保護者の負担軽減に努めている。 | A | 学校徴収金・補助教材にかかわる管理部門では適切に業務が行われ、保護者の負担軽減に努めることができた。 | A | A |
| 学校関係者評価委員による意見 | | ・この項は、自己評価の達成状況、改善策とも適切である。 | | | |